

指定管理者による公の施設の管理状況評価（令和7年度分）

施設	名 称	栃木市いまいずみ児童館
	所 在 地	栃木市今泉町1丁目2番7号
	施設内容	児童厚生施設
指定管理者	名 称	株式会社メディカルフィットネスとちの木
	所 在 地	栃木市野中町553
	主な業務内容	栃木市いまいずみ児童館の管理運営

（1）平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか					
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか					
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか					
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値		
	運営方針研修			4回	4回		
	利用案内揭示数			5か所	6か所		
	利用者アンケート数			100件	231件		
	利用者アンケート意見反映数			5件	5件		
	クレーム対応研修			2回	2回		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	I	1.0	25	II	0.8	20
指定管理者コメント	①施設の設置目的や児童福祉法に基づいた施設運営の基本方針を明文化し、年4回の研修で職員への周知と理解を図りました。						
	②施設の利用に関する案内を館内6か所に掲示し、初めての方でも利用しやすい雰囲気づくりに努めました。入館口付近の利用者荷物置き場を、職員が事務所からでも目視出来て目が届く位置にしました。また、平等性の確保への取組みとして接遇研修を実施し、職員の「相手に対する思いやりやおもてなし」の向上を図るとともに、全ての利用者への公平公正な接遇に努めました。パソコンや卓球の貸出しでは利用のルールを明確にし、平等な利用を児童に指導しました。						
	③アンケート調査・会話・ご意見箱・ホームページを用いて利用者の意見収集に努め、5件の意見反映を行いました。利用者アンケートは児童からの回答を予定数以上に収集し、反映した要望も児童に向けたものが多くなりました。利用者数が増加傾向にある中、駐車場の混雑緩和は課題となっており、共用する施設と連携し調整を図りました。						
	④苦情の対応について研修を行い、早期解決と職員の対応による苦情の深刻化・長期化の防止を図りました。子育て世代の施設利用やイベント参加に際しては駐車場の問題が表面化しており、必要な駐車スペースを確保するよう対応を行いました。						

施設所管課コメント

- ・ いまいずみ児童館においては、特にパソコン等利用時のルールを児童に守ってもらうことは平等な利用に関わる要素だが、年間を通して大きなトラブルもなかったことは、職員が適切な指導にあたっていたと思料する。
- ・ 利用者アンケートは計画値を大幅に上回る件数を実施しており、特に児童からの要望を反映させていることは施設の特色としての利用者層に沿っていると考えられる。
- ・ 駐車場の混雑は所管課としても対応が必要な問題のため、関係部署と連携をとりながら解消を目指したい。

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み						
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか				
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか				
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか				
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	事業開催数			102回	131回	
	新規事業数			2事業	2事業	
	利用者数			9,600人	11,506人	
	事業参加者満足率			80%	91%	
	事業への意見反映数			5件	5件	
	泉寿園と協働した多世代交流事業			3回	4回	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1.0	20	I	1.0
指定管理者コメント	①施設の設置目的に合致した事業として計画したものはすべて実施し、予定数を大きく超える計131回を開催、延べ1376人の参加となりました。子育て世代の支援の取組みとしては、通年で幼児クラスを開催し、乳幼児ルームを常時開設しました。長期休みなどの混雑時には泉寿園と協力のもと利用スペースを広く開放し、各年代の児童が安全に利用ができるよう注意を払いました。					
	②広報とちぎやじどうかんだより、ホームページにて毎月の情報発信を行いました。SNSの活用として昨年度よりInstagramを開設しており、イベント関係を中心に最新の情報を公開できるよう努めました。じどうかんだよりは毎月33か所の外部施設等に設置の協力を依頼し、協力をいただいています。					
	③年間の利用者数は昨年度より1,050人増加の11,506人となり、引き続き大きく伸びています。新規事業は職員が外部研修にて学んだ内容や子育て世代の要望を加味した2事業を実施しました。事業参加者を対象としたアンケートでは比較的高い満足度をいただき、5件の意見反映を行いました。					
	④地域や関係団体と協力して計5事業を実施しました。毎年開催している「じどうかんまつり」では、準備片付けや当日の飾りつけなどを手伝ってくれる児童を募集し、計8名の小中学生にボランティアとして参加してもらいました。子どもたちの長期休暇時には併設する泉寿園の協力の下、「勉強部屋」として部屋の提供やイベントの共同開催などを行いました。					
施設所管課コメント	・当初計画を大きく上回る件数の事業を実施しており、職員の注力が伺える。状況により利用スペースを開放するなど複合施設の強みを活かした対応がなされており、利用者の満足度向上に寄与している。今後も利用者の利益になるよう柔軟な施設運営を行ってほしい。 ・利用者数が継続して増加していることは、通年利用者の満足度を維持しているとともに、情報発信を積極的に行った成果と見て取れる。 ・他団体との協同事業は、児童の健全育成だけでなく職員の交流や資質向上にも繋がるため、引き続き取り組んでもらいたい。					

(3) 施設経費の削減の取組み						
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか				
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか				
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか				
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	本社及び税務会計事務所によるチェック数			12回	12回	
	購入品見積もり合わせ実施件数			5件	3件	
	設備・備品更新数			5件	5件	
	職員による小破修繕実施数			3件	20件	
	廃棄物の再利用回数			10回	15回	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	15	Ⅱ	0.8	12	Ⅱ	0.8
指定管理者コメント	①指定管理料の収支手続については、四半期毎の財務委員会に加え、専任の担当者と毎月の収支及び予算状況の確認を実施し、税理士の指導・助言のもと適切に管理を行いました。					
	②デマンド監視装置を用いた最大需要電力量の管理と、集中コントローラーによるエアコンの一括管理で、電気使用料の高騰の低減と、施設利用状況を考慮した快適性を損なわない環境維持を実践しました。空調管理については特に乳幼児の利用範囲には気を配り、利用者の体調維持に配慮した省エネに努めました。					
	③外部委託については遊具広場の遊具点検や緑地管理、エアコン室内機のフィルター清掃を自社で実施し、清潔な環境の維持と委託経費の削減に努めました。軽微な修繕は可能な限り職員でも行いました。また備品購入の検討にあたって3件の見積合わせを行いました。					
	④施設や備品等の各種点検を実施し、優先度や状態に応じた必要性を考慮のうえ適切な修繕・維持管理を行いました。環境配慮への取組みとして、行事工作物材料等への廃棄物の再利用を計15回行いました。施設の電力契約では供給事業者と非化石証書サービスを契約し、二酸化炭素削減に寄与する取組みを行いました。					
施設所管課コメント	・収支手続については、適正な管理を行う上で外部からの指導・助言は非常に重要なため、今後も継続してもらいたい。					
	・空調管理において、電力消費を抑えることと利用者への配慮は相反する部分があり難しい課題であるが、利用状況に気を配りながら管理者として効果的な取り組みを行っていたものと思料する。					
	・職員による修繕を数多く行ったことは、経費を抑えながらも利用者サービスを維持向上させようと注力して努めた結果と評価できる。					
	・目に見える形で環境への配慮が行われているため、今後も継続してもらいたい。					

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み						
評価要素	①	施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか				
	②	職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか				
	③	職員の福利厚生は充実しているか				
	④	団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>				
	⑤	各種税金や社会保険料等は適切に納められているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	勤務時間数			40時間以内/週	40時間以内/週	
	社内研修職員参加数			年間延べ12名	年間延べ36名	
	職員ヒアリング実施数			2回	4回	
	外部研修参加回数			4回	4回	
	経営収支比率			100%	100.6%	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1.0	20	II	0.8
指定管理者コメント	①日常業務では保育士、幼稚園教諭や子育て支援員等の資格保持者を中心に、施設の適正管理に必要な職員配置を行いました。防災、衛生面では防火管理者や食品衛生責任者等を配置し、泉寿園と連携した日常的な安全確認や避難経路の確保等に留意しました。また意見交換や情報共有の場として、市内児童館との館長会議の他に、社内での運営ミーティングを定期的に行いました。					
	②労働基準法を遵守した適切な勤務体制下で、管理運営を行いました。育成指導では、計画に沿って年12回の社内研修を実施し、延べ36名が参加しました。外部の研修も積極的に活用し、職員の資質向上を図りました。					
	③福利厚生は計画のとおり実施し、職員の勤労意欲や能率の向上、健康維持を図りました。					
	④専任の担当者が社会保険労務士や税理士の助言・指導を得ながら、各種納税、保険料の納付を適切に行いました。					
施設所管課コメント	・職員配置を工夫し、有資格者中心の運営となるよう日頃の業務にあたっていた。安定した施設運営のため、適正配置や人材確保等の取り組みを続けてもらいたい。 ・社内外の研修に積極的に参加していて、職員育成及び施設の安定運営に目的意識を持って臨んでいると思われる。 ・専門家の助言を得ながら事務にあたっていることから、適正な財政運営がなされているものと思料されるため、今後も継続してもらいたい。					

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み						
評価要素	①	日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか				
	②	緊急時の危機管理体制等が確立されているか				
	③	避難訓練や防災訓練を適切に行っているか				
	④	具体的な個人情報保護対策を行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	定期安全点検実施回数			12回	12回	
	消防・防災訓練実施回数			2回	2回	
	安全講習会実施回数			2回	3回	
	救命救急講習会			1回	1回	
	個人情報保護講習会実施回数			1回	3回	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8
指定管理者コメント	①安全管理マニュアルに基づいたチェック表に沿って日常点検を実施し、施設・設備の安全性を確保しました。また日常点検では補うことができない箇所については、定期点検、法定点検を実施し、状態を把握することで、改善箇所の早期発見と早期対応を図りました。このほか四半期毎に本社職員と定期確認を行いました。					
	②緊急連絡系統図を事務所に掲示し、所管課、職員間などの連絡体制を明確にし、緊急時において迅速な危機管理体制をつくれるよう定期的な確認を行ったほか、危機管理に関する各種マニュアルに沿って、職員研修会を実施しました。					
	③地震や火災などを想定した訓練として、消防防災訓練を泉寿園と合同で2回実施し、一般利用者にも参加していただきました。その他児童館職員で行う定期的な避難訓練を12回行いました。					
	④当社の個人情報保護規定に基づき、職員研修を実施しました。個人情報保護関連資料を含めた各種マニュアルは、全職員がいつでも確認できる環境を整えており、保存の必要がなくなった関係書類は裁断処理を行い、確実に破棄しました。また、事務用のインターネット回線にはセキュリティルーターを導入しています。					
施設所管課コメント	・ 定期の点検報告からも、安全点検や法定点検等は適切に行っていると判断できる。 ・ 緊急時の体制を掲示することや、講習会等を複数回実施し常に職員の意識向上を図ることは、施設の安全対策として非常に重要なため、今後も継続して取り組んでもらいたい。 ・ 実際の非常時には、泉寿園との連携や利用者対応は不可欠であることから、効果的な合同訓練等を今後も行ってもらいたい。					

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)	第3次評価点 (選定委員会評価)
(1) 平等利用の確保と サービス向上の取組み	25	25	20	20.9
(2) 施設の効用を最大限に 発揮する取組み	20	20	20	19.4
(3) 施設経費の削減の取組み	15	12	12	12.1
(4) 施設の管理を安定して 行うための取組み	20	20	16	16.7
(5) 施設の安全対策、 危機管理体制の取組み	20	16	16	16.0
評価点合計	100	93	84	85.1
総合評価		A (優)	A (優)	A (優)

第3次評価（選定委員会評価）

選定委員会コメント

- ・ 泉寿園との世代間交流の取組みは評価したい。特色であるスポーツドクターを活かした事業展開について、さらにPRをしてもらいたい。
- ・ アンケート収集に努め、年間130を超える事業を実施した点は大いに評価したい。毎月の児童館だよりの発行は、今後も継続してもらいたい。
- ・ 駐車場が限られている中でも、同じ敷地にある他の施設と調整し柔軟に対応している点は評価したい。
- ・ 軽微な修繕は職員が対応するなど、経費節減に努めている点は評価したい。
- ・ 外部研修に積極的に参加するなど、職員の資質向上に努めている点は評価したい。
- ・ 泉寿園との合同消防防災訓練は、今後も継続してもらいたい。

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別 紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3ヵ年の情報を記入してください。

決算年次	令和5年3月期	令和6年3月期	令和7年3月期
資産総額	74,358,064	65,026,176	87,730,427
売上高	338,434,405	306,129,407	343,389,254
経常利益	2,386,795	454,775	2,044,400
当期利益	2,221,395	289,375	1,879,000
経常収支比率	100.7%	100.2%	100.6%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	令和5年3月期	令和6年3月期	令和7年3月期
経常費用	341,813,718	306,645,202	342,485,580
経常収益	344,200,513	307,099,977	344,529,980
経常収支比率	100.70%	100.15%	100.59%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

直近3ヵ年の法人決算では、経常利益・経常収支比率ともプラスとなり、健全な財政状況を維持しています。自主負担により年度末に児童館遊具を一部更新しました。